6 トラブルシューティング

ご使用中に何らか異常が発生し、修理を依頼する前に以下の項目の確認をお願いします。確認後も 正常に動作しないときは、当社担当保守もしくは担当営業にご相談ください。

Power ランプが点灯しない場合

- (1) 電源ケーブルが電源ソケットに確実に接続されていますか。
- (2) 電源プラグがコンセントに確実に接続されていますか。
- (3) コンセントには AC100V が供給されていますか。

Speed/Link ランプが点灯しない場合

- (1) モジュラが正しく接続されていますか。
- (2) ツイストペアケーブルに断線、ショートはありませんか。
- (3) ケーブルが長すぎませんか。ツイストペアケーブルは、100mまでしか接続できません。
- (4) カテゴリ5以上のツイストペアケーブルを使用していますか。

正常に通信ができない場合

- (1) 端末の移動を行った場合は、アドレスが破棄されるまで通信できない場合があります。しばらく 待つか、装置のリセットを行ってください。
- (2) 装置温度が異常に高い場合は、FAN が動作していることを確認してください。(SH1816B は除く)
- (3) 接続の設定を確認してください。
 - オートネゴシエーションの場合は①を、固定設定の場合は②を参照してください。
 - ① オートネゴシエーションの場合
 - 接続相手が全二重固定の場合は、本装置も接続相手に合わせて全二重固定の設定にする必要 があります。
 - オートネゴシエーションに設定している場合、接続相手によっては接続できない場合があります。このような場合には、本装置と接続先ステーションそれぞれのポートのSpeedとDuplex設定を手動で合わせてください。(Speed/Duplex設定については、「4.3.2.1.3 Configure Ports(ポート設定)」を参照してください。
 - ② 固定設定の場合
 - 接続相手との設定が一致しているか確認してください。一致していない場合は、それぞれの ポートの Speed と Duplex 設定を合わせてください。(Speed/Duplex 設定については、「4.3.2.1.3 Configure Ports(ポート設定)」を参照してください。また本装置の通信モードが 100M 設定 で、接続相手が 10M 設定の場合、Link LED が点灯する場合があります。
 - 通信できないポートに接続したケーブルを、他のポートへ接続を変更してください。この時、 通信が可能になった場合は、本装置の故障です。また、ポートを変更しても通信できない場 合は、ツイストペアケーブルの不良または接続相手の故障が考えられます。

Auto MDI/MDI-X が正常に動作しない場合

(1) ポートの設定がオートネゴシエーションになっていない場合、Auto MDI/MDI-X は機能しません。 ポートの設定を確認し、オートネゴシエーションに設定してください。

SNMP マネージャにスイッチングハブが認識できない場合

- (1) 本装置と端末のそれぞれにツイストペアケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- (2) マネージャ IP アドレス、コミュニティ名等が正しく設定されていな場合、SNMP マネージャからの管理は行えません。「4.3.2.3 SNMP Manager Configuration (SNMP マネージャの設定)」を参照してください。
- (3) Security IP が設定されているか、もしくは設定している IP アドレスを確認してください。設定方法については、「4.3.2.3 SNMP Manager Configuration (SNMP マネージャの設定)」を参照してください。

ターミナルソフトウェアの使用上の注意

以下のターミナルソフトウェアはコンソール動作を確認しています。

- Windows[®]に付属のハイパーターミナル
- Tera Term Pro
- 各ターミナルソフトウェアで使用可能なキーを下記の表に示します。

表1 各ターミナルソフトウェア¹における使用可能キー

カーソル操作	TELNET ² (windows 標準)	ハイパーターミナル3			
		Microsoft Windows	Microsoft	Microsoft	Tera Term ⁴
		Me 及び Microsoft	Windows	Windows	Pro V2.3
		Windows 2000	95/98	NT4.0	
カーソル移動キー	0	0	×	0	0
$Cntl + A \sim Z$	0	0	0	0	0
Back space	BS Cntl + BS Shift + BS	BS Shift+BS	BS Shift + BS	BS Shift + BS	BS Shift + BS
Delete	Del Cntl+Del Shift+Del	Cntl+BS	Cntl+Del	Del Cntl+BS	Del Cntl+BS

- 1 ターミナルソフトウェアを使用する場合は、必ず、日本語入力システムを OFF に設定してください。
- 2 ターミナルオプションのブロックカーソルと VT-100 Arrows を有効にし、Emulation を VT-100 漢 字に設定し、漢字コードセットのシフト JIS を有効にしてください。
- 3 Emulation を VT-100 互換に設定してください。
- 4 本ソフトウェアは、フリーソフトウェアです。
- 5 ホストのプロパティで「Ctrl+A~Z, Esc カーソル移動キーで制御コード発生」を有効にしてください。
- 6 ホストのプロパティで「カーソル移動キーCtrl+A~Z, Esc で制御コード発生」を有効にしてくだ さい。
- 注)コンソール画面をファイルに保存する場合は、必ず編集からコピー&ペーストで行ってください。
- 注) Tera Term Pro v2.3 を使用する場合は、画面上での右クリック動作は行わないでください

コンソール用端末装置に何も表示されない場合

- (1) Ctrl + R キーを押下して画面のリフレッシュを行ってください。
- (2) 本装置のコンソールポート、端末装置それぞれに RS-232C ケーブルを正しく接続してください。
- (3) ターミナルソフトの通信方式が正しく設定されていることをご確認ください。端末装置の接続方 法については、「2.4.2 コンソールポートの接続」を参照してください。
- (4) ケーブルの接続、ターミナルソフトの設定を確認しても表示が出てこない場合は、本装置の電源の抜き差しを行ってください。

TFTP サーバソフトウェアの使用上の注意

ファームウェア、及び構成定義ファイルのダウンロード/保存を行う場合に使用する TFTP サーバソ フトウェアは、以下のソフトウェアで確認を行っています。

• Tftpd32 Version 2.0 以降(本ソフトウェアはフリーソフトウェアです)

パスワードを忘れた場合

パスワードを忘れた場合は、当社担当保守もしくは担当営業にご相談ください。

その他の注意

修理を依頼する前に、必ず構成定義情報の確認を行ってください。